

## VI 生涯学習課

### 1 庶務係

#### 蟹江町社会教育委員名簿

職 名	氏 名
委 員 長	松 本 正 美
副 委 員 長	神 田 雅 彦
委 員	寺 西 功
委 員	後 藤 尚 人
委 員	木 下 眞 吾
委 員	山 田 久 子
委 員	岸 幸 雄
委 員	飯 田 數 義
委 員	加 藤 俊 男
委 員	芝 仁 繁

(敬称略)

#### (1) 社会教育委員の活動状況

##### ① 社会教育委員会議の開催状況

###### 社会教育委員会議の構成

- ・会議の種類 定例会（年2回開催5月・11月）
- ・構 成 員 社会教育委員、教育長、教育部次長、  
生涯学習課長、生涯学習課長補佐、図書館館長

##### ② 会議の運営状況

平成28年度における蟹江町社会教育委員の定例会の主な活動状況は次のとおりである。

開催日	議 案 ・ 報 告 事 項 等
平成28年5月25日 (定例会)	<b>【協議事項】</b> 1 平成27年度事業報告について ア 生涯学習課関係事業報告について イ 蟹江町図書館事業報告について 2 平成28年度事業計画について ア 生涯学習課関係事業計画について イ 蟹江町図書館事業計画について
開催日	議 案 ・ 報 告 事 項 等
平成28年11月16日 (定例会)	<b>【協議事項】</b> 1 蟹江町社会教育委員の経過報告について 2 平成28年度事業経過報告について

	ア 生涯学習課関係事業報告について イ 蟹江町図書館事業報告について
3	平成29年度事業計画(案)について ア 生涯学習課関係事業計画(案)について イ 蟹江町図書館事業計画(案)について

## 2 生涯学習係

### (1) 公民館事業

講座・各種教室の開催（平成28年度実績）

#### ① 公民館講座

講座・教室名	中央公民館・中央公民館分館		
	開催数	募集人員	参加数
羊毛フェルト教室	4回	20人	9人
親父の料理教室	4回	各20人	21人、25人、24人、14人
カラーコーディネート講座	5回	20人	17人
カリグラフィー教室	5回	15人	12人

#### ② 公民館自主グループの支援

公民館講座の修了者が、結成した自主グループに対し、施設利用料の一部を減額することで、団体活動を支援し、公民館活動を促進する。

#### 〔点検・評価〕

中央公民館・分館では、生涯学習・文化活動の拠点として、学習や交流の場を提供するため、各種講座を開設している。また、参加者に対するアンケート調査を実施し、今後も町民のニーズに応えられるような講座を開設していくことに努めていく。

### (2) 家庭教育・人権教育

#### ① 家庭教育講座

講座・教室名	開催数	募集人員	参加数	開催場所
わくわく子育て教室	5回	20家族40人	8家族16人	蟹江中央公民館
親と子の料理教室	1回	16組32人	16組32人	蟹江中央公民館
にじいろクワガタを育てよう	1回	30家族60人	46家族103人	蟹江中央公民館
ちょこっと探検隊	1回	20組40人	9家族20人	愛知県防災航空隊 トヨタ産業技術記念館
親子キャンプ教室	1回	70人	19家族64人	愛知県設楽町 つぐ高原グリーンパーク

〔点検・評価〕

親と子の料理教室は、人気のキャラクターを題材にしたのが良かったため、申込者が多く抽選となった。今後もニーズにあったものを取り入れていくことが必要と思われる。

にじいろクワガタを育てようは、親子でにじいろクワガタを幼虫から成虫になるまで、観察しながら育て、親子の絆を強めることを目的とした講座で、予想を上回る参加があった。関心の高い事業であることが確認できた。

親子キャンプ教室については、24年度宇賀溪キャンプ場、25年度は朝明キャンプ場で事業を行った。26年度からは、つぐ高原グリーンパークで事業を行っている。申込者も多く抽選となっているが、毎年申込みされる方もあるため、事業内容を検討し、より良い事業を計画する必要がある。

(3) 青少年健全育成

① 青少年健全育成講座

講座・教室名	開催数	募集人員	参加数	開催場所
子ども料理教室	2回	各24人	10人、16人	蟹江中央公民館
わんぱく料理教室	1回	24人	23人	蟹江中央公民館

② 成人式

「はたち」を迎える新成人が、明るい未来の担い手としての自覚を持ち、社会人としての責任ある行動をとることを願い、地域社会全体で祝い励ます。

(開催日：平成29年1月8日(日) 対象者：418人 参加者：369人)

③ 青少年相談事業

青少年問題協議会専門委員による相談事業を毎月1回、中央公民館分館にて実施している。

④ 青少年健全育成運動

青少年の非行防止のため、指導者研修会や街頭指導を年2回実施している。

〔点検・評価〕

教室での参加応募は、子ども料理教室は定員に達していないことから、今後とも町民のニーズに応えているか検討を要する。

成人式は、町外へ転出している方も出席できるよう、窓口を広げていることもあり、出席率もよい。また、女性からは午後の開催ということが、着付けに早朝から行かなくてもよいことが好評である。

(4) 生涯学習関係団体育成

① 蟹江町文化協会

文化協会の円滑な運営及び芸術文化活動の充実に資するため、補助金を交付し指導・育成する。

9部門 43団体 604人 補助金1,111,400円

② 蟹江町婦人会

婦人の地位向上や心豊かな地域社会の発展に寄与することを目的に、婦人会に対し補助金を交付し支援する。

9支部 14,600世帯 補助金1,180,000円

③ 蟹江町小中学校PTA交付金

学校と連携を密に、教育の充実と地域社会の発展・振興に寄与するPTA活動に対し、交付金を交付し支援する。

7小中学校 2,875人 交付金1,311,200円

〔点検・評価〕

町民が健全で豊かな生活を営むために、社会教育関係団体に対して補助金（交付金）を交付することにより、町民の健康と地域文化の向上並びに町民相互の親睦を図ることができる。

(5) 生涯学習まちづくりの推進

① 生涯学習まちづくり推進町民大会の開催

青少年健全育成・家庭教育推進・生涯学習の推進を促す町民大会として開催した。

・ 開催日 平成28年7月3日(日)

・ 開催場所 蟹江中央公民館集会室

○生涯学習文化交流会 ○箏曲 生田流宮城派 伊藤玲子社中

○沖縄県読谷村 やーにんじゅ音楽隊 入場者 478人

② 文化祭の開催

町内における文化振興を図り、各種文化団体（または個人）の親睦と連携を深め、併せて生涯学習まちづくりを推進する。

・ 開催日 平成28年11月5日(土)・6日(日)

展示の部 1,807人

芸能の部 31団体 371人

・ 開催場所 蟹江中央公民館・蟹江町体育館

③ 創年式の開催

60歳を迎えた方が集い、人生の節目を共に喜び合い、地域への連帯感を確認しながら人生の再出発を祝う。

・ 開催日 平成28年10月23日(日) 対象者：413人 参加者：86人

・ 内容 式典、各種相談コーナー

(健康相談・ボランティア・生涯学習啓発)

・ 講演会 榊原 敏正「認知症にならないために」

・ 開催場所 蟹江中央公民館分館

〔点検・評価〕

生涯学習まちづくり推進町民大会は、第2部を「生涯学習文化交流会」として、沖縄県読谷村との交流会を開催した。昨年度と同様、文化交流の場ができたことは非常に良い機会になったと思われる。近年は開催日を日曜日としていることから、集客力のある事業選定が必要不可欠である。

また、今年で9回目の創年式を開催した。対象者から見ると出席率が平成23年度以降、10%前後となり年々低くなるのが課題である。今年度も、健康推進課と共に6024歯科事業を行い、講師を紹介していただき、認知症に関する講演を行った。

### 3 歴史民俗係

#### (1) 歴史民俗資料館利用状況

開館日数及び入館者数(内講座利用者)

開館日数	295日
入館者数	16,265人(509人)
1日当たり	55.1人

〔点検・評価〕

平成28年度は、須成祭ユネスコ無形文化遺産登録記念特別展の入場者数が多かったことや、講座受講者数の増加により、全体の入館者数が27年度に比べ大幅に増加した。今後も魅力ある展示や講座を実施することで、多くの方に来ていただけるようにしていきたい。

#### (2) 収集・保管

① 収蔵資料点数 4,198点

② 郷土文化資料購入

館蔵資料の充実のため、郷土の文化人や町の歴史に関する資料等を購入した。

蟹江家(旧鈴木家)印 一式

中村道年初代策黒塗碗 1点

佐藤高越 掛軸 1点

③ 資料の寄贈・寄託

町内外の方から関連資料11点の寄贈を受けた。

#### 〔点検・評価〕

平成28年度においては、購入資料3点、寄贈資料11点、合計14点の資料を収蔵した。

購入資料については、町民の方の理解を得るため、定期的に公開をしている。資料の寄贈・寄託については、持ち主の方から資料館の役割についての理解と信頼をいただいているため、期待に沿えるような活動を行わなくてはならない。

一方で、資料の数は年々増加しており、収容力不足となりつつある。この現状をいかに解消するのかが課題となっている。また、収蔵資料情報や、周辺の画像資料などについてもデジタルデータとして保管すべきであることから、資料保存のための周辺機器や設備とともに、管理体制も充実させる必要がある。

#### (3) 展示

##### ① 常設展示の充実

年間を通じてテーマを設定し、郷土の歴史、民俗にかかる資料の展示を行った。さらに、購入した郷土文化資料や新たな寄贈資料を加えることで、常設展示の充実を図った。

##### ② 企画・特別展示

町の歴史・民俗に関連する企画展・特別展を実施した。

##### ア 特別展

- ・ 須成祭ユネスコ無形文化遺産登録記念特別展

「須成祭の車楽船行事と神葎流し」

展示場所 企画展示室

展示期間 平成29年1月21日～3月12日 来館者数5,932人

##### イ 企画展

- ・ 「須成祭パネル展」

展示場所 ロビー展示

展示期間 平成28年7月15日～8月21日

- ・ 「エコきつず調査隊成果発表展」

展示場所 ロビー展示

展示期間 平成28年8月23日～9月4日

- ・ 須成祭ユネスコ無形文化遺産コーナー展示

展示場所 ロビー展示

展示期間 平成28年11月1日～平成29年3月31日

- ・ ミニ企画展「かわいいひな人形」

展示場所 民俗展示室

展示期間 平成29年2月4日～3月12日

〔点検・評価〕

展示活動は、収集した資料等を調査研究したうえで公開するもので、資料から一目で学習情報を読み取り理解できるという学習効果が望める資料館の重要な事業の一つである。

平成28年度は、須成祭のユネスコ無形文化遺産登録をうけ、須成祭ユネスコ無形文化遺産登録記念特別展「須成祭の車楽船行事と神葎流し」を開催したところ、多数の方に見学していただき好評を得た。また、ユネスコ登録関連の情報についても、ロビーにてコーナー展示することで、随時進捗状況等の発信を行い、来館者のニーズに応えた。

特別展に加え、企画展を開催することで、調査・研究の成果を公開する役目を果たすことに加え、来館者のニーズに即座に対応することも可能となる。今後も継続的に実施して資料館活動を充実させていくべきである。

(4) 調査・研究

① 資料館関連資料についての調査・研究

展示内容の充実を図るために、関連資料等の調査・研究を行った。

② その他調査

愛知県史編纂等にもなう調査や学生の卒業論文作成のための調査等への協力を、依頼に応じて随時行った。

〔点検・評価〕

資料を展示し、教育普及・情報提供活動に供するうえで、調査・研究活動は資料館運営の根幹事業である。これからも調査・研究事業を円滑に進めていくためには関係各位の協力が不可欠であり、地域との連携が重要になるであろう。

(5) 情報提供

① 各種印刷物等の発行

歴史民俗資料館年報第37冊発刊

文化財パンフレット刷新

須成祭ユネスコ無形文化遺産登録記念特別展解説書発行

須成祭マイスター養成講座解説書（須成祭ガイドブック）発行

② 関連機関発行の印刷物等への情報提供

新聞社、出版社、放送局などの機関に対し、町の歴史や民俗に関する情報提供を、依頼に応じて随時行った。

〔点検・評価〕

歴史民俗資料館年報第37冊については、教育委員会及び県立図書館などに寄贈したほか、既刊の印刷物とともに窓口で有料配布を行い、資料を持ち帰って学習したいという来館者のニーズに対応している。また、平成28年度においては、須成祭のユネスコ無形文化遺産登録への動きに付随して、報道機関等から須成祭の情報提供の依頼が多数あった。今後も同様の依頼が随時あると思われることから、速やかに対応できるよう、データベースの整備をしておくことも重要である。

(6) 教育普及

① 主催講座

講座・教室名	中央公民館分館ほか		
	開催数	募集人員	参加数
古文書を読む会	8回	30人	20人
「かにえ地域学」講座	6回	20人	19人
環境学習 エコきっず調査隊	4回	20人	18人
須成祭マイスター養成講座	10回	20人	18人
郷土体験学習会	4回	25人	4回計57人
文化財研修会	1回	80人	41人

② 出前授業

小中学校に呼びかけ希望を募り、資料館学芸員が学校に出向いて蟹江町の歴史や文化についての解説をした。

開催日	学校名	内容
平成28年6月23日	蟹江中学校	須成祭について
平成28年7月7日	学戸小学校	須成祭について
平成28年7月8日	舟入小学校	須成祭について
平成28年7月13日	蟹江小学校	須成祭について
平成28年7月14日	新蟹江小学校	須成祭について
平成28年7月15日	蟹江北中学校	須成祭について
平成29年1月25日	須西小学校	昔の道具について
平成29年1月27日	新蟹江小学校	昔の道具について

〔点検・評価〕

全体的に、各講座の受講者数や出席率は27年度に比べて増加傾向にあり、内容の見直し等の成果があらわれた。特に「エコきっず調査隊」は、27年度受講者が少なかったため、参加しやすいように内容や日程を見直したところ、倍増させることができた。また、新規事業として「須成祭マイスター養成講座」を、まち・ひと・しごと創生事業として立ち上げ実施したところ、幅広い年齢層の方に受講していただくことができた。須成祭のユネスコ無形文化遺産登録という機会を見込んで立ち上げたことが功を奏したと思われる。祭りの伝承のためにも今後も継続していくべきであるが、そのためには、内容や実施の仕方を精査していかなくてはならないだろう。

出前授業の実施数はほぼ横ばいであったが、内容は、「須成祭について」の実施が多かった。今後も学校と連携をとりながら、子どもたちの郷土学習への関心を高めることができるよう実施内容の見直しをしつつ継続して実施していきたい



#### 4 文化財保護係

##### (1) 文化財保護審議会の開催

役員改選による委員長選出と、平成28年秋に須成祭のユネスコ無形遺産登録の可否が決定される予定であったことから、その経緯等の報告を行った。

- ・ 開催日 平成28年6月8日(水)  
出席委員 6人

##### (2) 須成祭ユネスコ無形文化遺産登録関連事業

「山・鉾・屋台行事」の一つとしてユネスコ無形文化遺産候補となっていた須成祭への関心が高まる中、来場者増加にともなう祭り当日の雑踏警備、簡易トイレ等設置、交通案内等の対応をするとともに、関係者を招待し交流会を開催した。そして、平成28年12月1日(日本時間)に登録が決定されたことをうけ、その直後に登録決定を祝う万歳会を行い、後日記念事業等を開催した。

- ・ 須成祭交流会  
開催日 平成28年8月7日(日)  
開催場所 蟹江町産業文化会館及び須成祭会場  
参加者 29人
- ・ 須成祭ユネスコ無形文化遺産登録決定万歳会  
開催日 平成28年12月1日(木)  
開催場所 蟹江町役場  
参加者 約100人
- ・ 須成祭ユネスコ無形文化遺産登録記念事業  
開催日 平成29年2月12日(日)  
開催場所 蟹江中央公民館集会室  
参加者 480人

##### (3) 文化財保護等補助事業

町内文化財保護団体に対し、文化財保護にかかる経費の補助を行い、歴史・文化の形成を正しく理解する上での基礎資料である文化財を、保存・伝承し、活用を図る等、人的・物的支援を実施した。

補助事業数：国指定無形民俗文化財伝承活動事業始め5事業

補助団体件数：須成文化財保護委員会始め21件

町費補助額：4,321,000円

##### (4) 文化財資料出展公開事業

10月の町民まつりにあわせて、各町内会に協力を依頼し、町内に存する神楽屋形や祭囃子等をまつり会場にて出展公開した。

公開期日 平成28年10月9日(日)

協力町内会 須成、蟹江新町、今、源氏才勝、西大海用、東大海用、本町分、舟入

(5) 重要文化財公開事業

国指定重要文化財である龍照院の十一面観音立像の公開を毎月18日に行ったほか、事前申し込みに応じて随時公開をした。

(6) 文化財普及・啓発事業

全国山・鉾・屋台保存連合会やあいち山車まつり日本一協議会に加盟し、県内外の関係市町や関係機関と協力をしながら、関連の研修や啓発活動を実施した。

〔点検・評価〕

平成28年度においては、須成祭のユネスコ無形文化遺産登録が決定したことが大きな動きとなった。国の方針により、「山・鉾・屋台行事」として国指定重要無形民俗文化財の33の祭りがユネスコ無形文化遺産候補にあげられ、その一つに須成祭も含まれていたが、平成28年秋に決定の可否が出るということで、年度当初より祭り当日の対応や情報発信等を検討し、実施してきた。12月1日の登録決定後には万歳会や記念事業を実施し、登録への経緯と文化遺産としての須成祭について、広く発信することができた。今後、ますます多くの方が須成祭について注目をするようになると思われるので、それに対応できるよう体制を整えるとともに、祭りの伝承の支えになれるよう、事業を実施していくことが必要とされるだろう。

補助事業については、平成28年度は、例年実施してきた補助事業に加え、須成祭の船等修理事業を国庫補助事業で行った。それにともない、国や県との調整、町費補助も実施した。大規模な船の修理事業への補助を実施したことで、祭りの後世への継承を支援できた。

近年、伝統文化への関心は高まってきている。それにともない、関係市町村や関係部署との連携がより一層重要になってきている。現在加盟している全国山・鉾・屋台連合会やあいち山車まつり日本一協議会にて広域の連携をとるとともに、観光部局などとの協力体制の強化も行っていく必要がある。

5 生涯スポーツ係

(1) スポーツ事業

① 各種スポーツ教室

町民が日常生活の中にスポーツを取り入れ、楽しみながら体力向上と健康増進を図ることを目的として開催した。

講座・教室名	開催数	募集人員	参加数	開催場所
ヨガ教室	5回	50人	48人	蟹江中央公民館分館
ヒップホップダンス教室	3回	15人	15人	希望の丘広場
合気道教室	4回	15人	15人	蟹江中学校武道場

〔点検・評価〕

ヨガ教室・合気道教室については、今後も時期や時間帯を検討し、住民ニーズを把握しながら、参加しやすい状況を展開していく。

また、新規講座としてヒップホップダンス教室を開催した。

(2) スポーツ推進委員・地区スポーツ協力員

町民がスポーツ及びレクリエーション活動をすることにより、体力の維持・向上を目指しスポーツ推進委員、地区スポーツ協力員を教育委員会が委嘱する。

① スポーツ推進委員 任期 平成28年・29年度 18人

② 地区スポーツ協力員 任期 平成27年・28年度 42人

③ 各種講習会

・ 指導者研修会

ニュースポーツフェスティバル開催に向け、スポーツ推進委員及び地区スポーツ協力員に対し、指導・普及を目的として講習会を開催した。

【種目】体力テスト、ドッジボール、キンボール、カローリング、スナッグゴルフ

・ スポーツ推進委員各種研修会

【種目】体力づくり運動、スナッグゴルフ

〔点検・評価〕

スポーツ推進委員が、各種研修会へ積極的に参加しスポーツ推進委員の資質向上を目指す。また、地域社会の活性化と住民の豊かな心と健康を図るため、生涯スポーツを推進し、その手段の一つとしてニュースポーツを通じて、町民の運動への関心を高めることが重要であり、スポーツ推進委員を中心として、地区スポーツ協力員と連携し各種教室・大会を開催した。

(3) スポーツ団体の指導・育成

① 生き生きかにえスポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブとして平成22年3月14日に設立。

平成26年10月29日にNPO法人を取得

・役員 理事 6人 監事 1人

・会員数 460人

・講座数 常時 19講座 特別短期 6講座

・イベント 4回 (バスハイキング(伊良湖岬、伊勢神宮等散策))  
キッズうんどう体験等

・交付金等 交付金 2,000,000円

② 蟹江町体育協会

体育、スポーツの振興と普及を図り、町民の体力向上を資するとともに、健康で明るい社会の建設を目的とする協会の活動に対し、指導・育成する。

・15団体 1,199人 補助金 2,338,800円

③ 蟹江町スポーツ少年団

青少年がスポーツを通じて心身を鍛錬し、青少年の健全育成に資することを目的とした団の活動に対し、指導・育成する。

・14単位団 団員424人 指導者128人 補助金648,400円

〔点検・評価〕

スポーツ関係者の理解・協力を得て、設立準備委員会、運営委員会を重ねた結果、海部地区で2番目となる総合型地域スポーツクラブ「生き生きかにえスポーツクラブ」が設立され、7年目となり、平成26年10月29日に法人格を取得した。前年度と比較すると、会員数が減少したものの順調に運営されている。

体育協会・スポーツ少年団は自主運営がなされているが、会員・団員の増員を図ることや、庶務等の生涯学習課からの事務移譲が課題である。

(4) 各種協議会・大会の開催

① 第12回ニュースポーツフェスティバル(民生部健康推進課共催事業)

気軽に楽しめるニュースポーツを通して、明るい町民生活に寄与することを目的として開催する。また、体力テストの実施により健康維持増進に役立てる。

・実施日 平成28年9月4日(日) 参加者数 134人

・開催場所 蟹江中央公民館、蟹江町体育館

② 第36回蟹江町みんなで走ろう会

みんなで走ることにより、体力づくりと家族のふれあいや友達との親睦を深めることを目的として開催する。日光川ウォーターパークを発着点として、3km及びジョギングの2部門を実施した。

・実施日 平成28年12月11日(日) 参加者数 507人

・開催場所 日光川ウォーターパーク周辺

③ 第37回蟹江町駅伝大会

チームで走ることにより、相互親睦と協調性を高め、地域住民のスポーツの振興を図ることを目的として開催する。平成27年度より蟹江町希望の丘広場周辺で、小学生の部である5人1組で約7.5kmを走る部門及び小学生以外の部の5人1組で13kmを走る部門の2部制で実施した。

・実施日 平成29年1月22日(日) 参加チーム 122チーム

・開催場所 蟹江町希望の丘広場周辺

④ みんなで歩こう会(年2回開催)

みんなで歩くことにより、体力づくりと家族のふれあいや友達との親睦を深める。また、ウォーキングの習慣を身に付けることで健康増進を

図ることを目的として開催した。

・実施日 平成28年6月5日(日)開催場所 岐阜県恵那市 参加者80人

・実施日 平成28年10月30日(日)開催場所 岐阜県揖斐郡揖斐川町  
参加者81人

⑤ 愛知万博メモリアル第11回愛知縣市町村対抗駅伝競走大会

2005年「愛知万博」を次世代へ語り継ぐと同時に、愛知県内の市町村の交流、市町村合併後の一体化促進、県民意識の高揚、県民スポーツの振興を目的として開催され、参加した。

・実施日 平成28年12月3日(土) 開催場所 愛・地球博記念公園

・内容 小学生の部から40歳以上の部まで男女9名による継走

・出場者 一般公募により選手選考を経て選手決定

・成績 町村の部 16町村中5位

〔点検・評価〕

昨今の健康志向により、豊かな自然や町並み散策を兼ねたジョギング、ウォーキングなどへの参加者は多くなってきている。蟹江町駅伝大会は、平成27年度より会場を新蟹江小学校周辺から希望の丘広場周辺に変更した。ニュースポーツフェスティバルについては、今後もより多くの住民が参加したいと思うイベントにしていきたい。

(5) その他

① スポーツ表彰

蟹江町在住・在勤の者が、全国規模のスポーツ大会に蟹江町及び愛知県の代表選手として出場した場合、栄誉を称えるため蟹江町功労者表彰により表彰した。 表彰者 3人

② 全国大会等出場選手奨励金支給

アマチュアスポーツ競技の全国大会等に選手として出場する個人または団体の小・中学生に対し、奨励金を支給する。 該当者 3人

③ スポーツカレンダーの発行

町及び町体育協会等の実施する、年間スポーツ行事を掲載したカレンダーを全戸配付することで、町民に事業参加を促し、スポーツ振興・健康づくりの推進に寄与する。 年1回 4月発行 1,000部

〔点検・評価〕

全国規模の各種スポーツ大会へ出場した場合、表彰、奨励金を支給することにより今後のスポーツ活動の糧となり励みとなっている。

## 6 女性対策係

### (1) 女性対策

#### 女性教育研修会

#### 蟹江町婦人会代表者研修

社会教育活動を推進するため、地域活動の担い手に対して社会教育活動を企画実施するうえで必要な知識や技術の習得を行う。また、市町村を越えた情報交換の機会を設け、地域及び県域で社会教育を担う指導者としての資質向上を図る。

#### 〔点検・評価〕

国・県主催による女性の地位向上に向けた研修事業等に参加した。また、政策推進のプランの中で女性教育活動推進のため、民間の女性教育指導者に対し、女性教育指導者としての資質向上を図る研修事業等に参加を求めていく。

## 7 施設係

### (1) 生涯学習施設、設備及び備品の整備

#### ① 中央公民館トイレ改修・下水道切替工事を実施した。

中央公民館

トイレ改修工事 43,200,200円

下水道切替工事 13,184,128円

#### ② 蟹江町希望の丘広場 場内整備工事を行った。

蟹江町希望の丘広場 場内整備工事

19,980,000円

#### ③ 生涯学習施設をPRし、使用方法等を周知し、更に一層の利用促進を図った。

#### ④ 学校体育施設を町民の健康増進及びスポーツ振興を図るため、町内小・中学校の屋外・屋内体育施設を町民に開放した。

#### 〔点検・評価〕

グラウンド、テニスコートの有料化も定着してきた。総合型地域スポーツクラブが発足し、今までの体育協会等の既存利用者の利用既得権が強いことから、「生き生きかえスポーツクラブ」の活動場所の確保が困難であったが、体育施設の有効かつ効果的な利用を推進するために、利用頻度の少ない施設の活用及び連絡調整に努めた。

蟹江町希望の丘広場は、フットサルコートやバーベキュー広場等、幅広く多くの方に使用されるようになった。

生涯学習施設は全般的に老朽化が進んでおり、施設の改修が必要である。今後、改修計画等を立案し、それに従って順次メンテナンスを行っていく必要がある。